

米国バイオ & テクノロジー株オープンの運用状況

米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

2016年8月9日

米国バイオ & テクノロジー株オープンの運用状況につきましては、ドルが一時的に上昇すると想定し、輸出ウェイトが相対的に高いIT関連株のウェイトを引き下げる一方、堅調な業績が見込まれるバイオ関連株の押し目買いを行いました。8月5日現在の基準価額は7,802円、実質株式組入比率は91.9%、組入銘柄数は43銘柄となっています。

今回は米国の情報技術及びヘルスケアセクターの2016年4-6月期決算動向についてお伝えします。

【2016年4-6月期決算は市場予想を上回る】

2016年4-6月期の米国企業決算において、市場予想を上回る業績を発表する企業が目立っています。S&P500種指数における情報技術セクターの構成銘柄のうち、8月5日までに決算を発表した54社ベースの業績は、前年同期比5.4%の増益となったほか、約80%の企業が市場予想に対して上振れる結果となりました。代表企業であるアルファベットやフェイスブックなどは、モバイルとクラウド・コンピューティングの成長を背景に好決算となりました。半導体及びハードウェア&装置のサブ・セクターでは、前年同期比で減益にとどまっていますが、アップルのようにiPhoneの販売台数が市場予想を上回り、需要が頭打ちになったとの懸念を後退させた決算もありました。

ヘルスケアセクターについても、8月5日までに決算を発表した49社ベースの業績は、前年同期比8.1%の増益となり、約86%の企業が市場予想に対して上振れる結果となりました。ギリアド・サイエンシズは売上高が会社計画に達しなかったことが嫌気された一方、2016年の通期利益見通しの上方修正を発表したセルジーンや4-6月期の利益が市場予想を上回ったバイオジェンなど、比較的良好な決算内容であったと考えられます。

【業界再編の機運が高まったことも好材料】

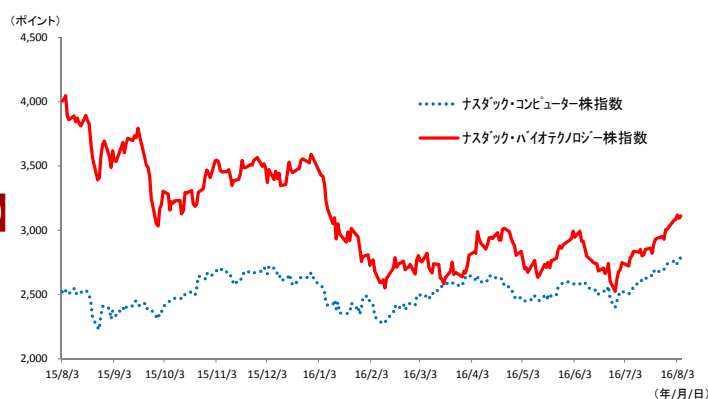
情報技術やヘルスケアセクターにおいては、業界再編の機運の高まりも株価の押し上げ要因になったと考えられます。半導体業界では近年、大型再編が相次いでいます。最近では、7月26日に半導体大手アナログ・デバイセズが同業大手のリニアテクノロジーを買収するとの発表がありました。ヘルスケア業界でも、5月に製薬大手のファイザーがバイオ医薬のアナコール・ファーマシューティカルズを買収すると発表しました。また、8月上旬にバイオ医薬品大手会社を買収されるとの観測報道がありました。今後も、企業が合併や買収で成長を目指す姿勢が株式市場にとって好材料になると考えられます。

S&P500種指数情報技術及びヘルスケア構成銘柄の 2016年4-6月期決算の内容(8月5日現在)

セクター	利益	対市場予想			発表済み 会社数	指数構成 会社数
	前年同期比	上振れ	同等	下振れ		
情報技術	+5.4%	80%	13%	7%	54	67
半導体	-7.2%	100%	0%	0%	11	16
ソフトウェア & サービス	+9.9%	71%	19%	10%	31	35
ハードウェア & 装置	-4.1%	83%	8%	8%	12	16
ヘルスケア	+8.1%	86%	10%	4%	49	57
ヘルスケア機器 & サービス	+14.0%	83%	13%	3%	30	33
医薬品、バイオテク & ライフサイエンス	+5.2%	89%	5%	5%	19	24

(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

ナスダック・コンピューター株指数と ナスダック・バイオテクノロジー株指数の推移 (2015年8月3日～2016年8月5日)



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

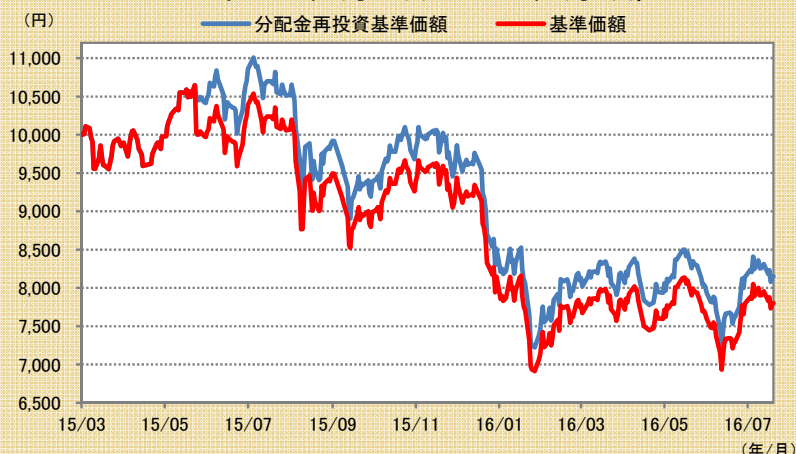
■本資料は、「米国バイオ & テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客先ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

運用状況（作成基準日 2016年8月5日）

米国バイオ&テクノロジー株オープン
設定来の基準価額推移
(2015年3月17日～2016年8月5日)



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※セクター別組入比率はマザーファンドを通じた実質株式組入比率です。
※セクター別組入比率はGICS（世界産業分類基準）によるセクター分類です。
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
※2015年6月の決算で1万口当たり450円（税引前）の分配を行っています。

ファンドデータ（8月5日現在）

基準価額(円)	7,802
残存元本(百万口)	4,933
純資産(百万円)	3,849
実質株式組入比率(%)	91.9
現金比率(%)	8.1
組入銘柄数	43

セクター別組入比率

情報技術	58.5%
ヘルスケア	27.5%
一般消費財・サービス	6.0%
現金比率	8.1%

【今後の株式市場の見通しと運用方針】

当面の米国株式市場は、高値警戒感から株価上昇が一服し、値固めの展開になると予想します。マクロ面では、足元の雇用統計などが市場予想を上回っていることから、景気の持ち直しが続いていると考えられます。企業業績面では、4-6月期決算は市場予想を上回り、7-9月期のS&P500種指数構成銘柄の1株当たり利益(EPS)は増益転換が期待され、業績見通しの改善が当面の株価の下支え要因になると考えます。一方、足元でS&P500種指数の予想株価収益率(PER)は高水準にあり、株価バリュエーション面での警戒感が上値を抑える要因になると思われます。

当面の運用方針につきましては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。ソフトウェア株などテクノロジー株にウェイト付けしたポートフォリオを維持するとともに、調整局面では、オンライン販売株のウェイトを引き上げます。一方、バイオ関連株については、共和党と民主党それぞれの党大会を経て、今後両党の候補者が医療費削減に向けた具体的な政策を打ち出す局面になることを踏まえ、悪影響が想定されることから、ウェイトを引き下げます。

以上

(作成：グローバル・エクイティ運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

米国バイオ & テクノロジー株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.782%（税抜1.65%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)